

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 17 号 (9 月 15 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

地区新人 まさかの?優勝を飾る

先日 9 月 11 日(土)、12 日(日)にかけて落合の市スポセンにて地区新人戦が行われました。村山地区からは 6 チーム(昨年までは 5 チーム)が県大会に進めるとはいえ、合計で 2 回勝たなければ県大会に行けないのは高いハードル。2007 年の地区新人では、地区リーグ 4 部のチームに一回戦で敗れる「波乱」の原因となり、県新人の切符を逃す失態を演じたこともある¹。今年の新人チームは県リーグでなかなか思うような戦いができず、勝ち星からも見放されている。そんな状況で地区新人を迎えたので、3 年前の思い出が大会前から頭をよぎっておりました。

初戦の相手は天童高校。押し気味に試合を進めながらも、パスワークの精度を欠き、また競り合いの厳しさも中途半端で、天童の速攻を許す前半。なかなか点が入らず、何となく押し気味のチームがカウンターから敗れるよくある試合の雰囲気が漂い始めた前半の終盤に、FWが待望の先制点をたたきこみ、前半 1 - 0。後半も雑な攻めが多く、回数は少ない天童の攻撃の方が鋭く感じる展開。セットプレーから加点し、最後は C D F がとどめを刺し²、結局 3 - 0。

次戦は山形商業。中学から鳴らした選手がそろっている山商は、技術では地区でも 1、2 を争う。山東には技術の差を得点差に反映させない粘り強い戦いが求められる。厳しい競り合いで技術を出さず、一発目で相手にうまくやられても敵の判断を狂わせて次のプレーでボールを奪うことを、意識の上で徹底させて試合に臨みました³。前半の入りは良く、寄せの早い山東のディフェンスに手を焼く山商オフェンスという試合の構図。前半、誰もがシュートを打つとは思わなかった所から、左 S B 翔大が素晴らしいロングシュートを放つ。それがファーポストに当たってゴールインするビューティフルシュート。確かにシュートを狙ったプレーで、センターリングがゴールインしてしまうシュータリングではありませんでした。山東先制。劣勢という多くの方の予想を裏切った先制点に、観客席やベンチも沸く。しかしその後 F K から失点し、1 - 1 で前半終了。「もったいない失点だったな～」という気

¹ その代は結局、冬の間、危機感を持ってトレーニングに励み、翌春の 2008 年県総体では東北大会への出場権を得ました。地区新人の敗戦が、良い糧となった代です。

² 誰が、どのような顔で得点したかは、山形東サッカーOB会のHPでご確認ください。激しい運動をすると、失禁したかのようにサッカーパンツ(の中央!)から汗を滴り落とす、山東の C D F の彼が、「野獣の雄叫びシュート」を決めました。汗だとしても、どこから汗をかいているんでしょうね?

³ 現状は、「競り合い厳しく行こうぜ」など発破をかけて、意識の上で徹底させることができるのみですが、本来は、厳しい競り合いがないと成り立たないトレーニングを積むことによって、自然に厳しく行けるようにする必要があります。山東はそこまで行っていません。

持ちはありましたが、格上チームが相手だけに1 - 1は立派。あまりないことですが褒めて選手を後半のピッチに送り出しました。後半、ギアの上がった山商が山東の寄せよりも早く球離れを行い、山東のディフェンスが「空振る」シーンが目立つようになる。山東はボールを持たれても自陣ゴール前では仕事をさせない粘り強い戦いを続けていたが、DFとGKの連係ミスという最近得意の失点パターンから逆転ゴールを許し、1 - 2。「先制点を取ったまでは最高のゲームだったかな～」などとベンチでボヤいておりましたが、今日の山東は新チームになって最も魂のこもった戦いを演じました！メッシ改めメッツのグラウンダーの（ゴロの）FKから同点にすると、最後は再びメッツがドリブルから左サイドを抉り、入学当初はほとんど蹴れなかった左足でのやさしいセンターリングを上げると、そのボールを多田が詰めて再逆転ゴール！！試合前「この大会で猫から虎に変わるだろう」と顧問から期待を込めて予想されていたメッツが、まさに野獣ドリブルでアシストを決めてくれました。結局3 - 2で山東の番狂わせの勝利。まさか一日目で県新人の切符を得てしまうとは・・・新人チームをこんなに頼もしく思ったのは初めてでした。

翌12日、初戦の相手は山形中央。山形中央は、すでに県新人を決めている関係から主力を温存。温存する余力のない山東は初戦と同じメンバーで戦う。試合は山商戦と同じく、山東の粘り強いディフェンスが山形中央のミスを誘い、一進一退となる展開。試合はこれまた山商戦と同じく時間を追うごとに相手ペースになりましたが、最後は主将多田が1トップの責任を得点という最高の形で果たし、1 - 0でしぶとくものにする。

決勝の相手は山形南。地区大会ではありますが、東南戦での決勝戦はいつぶりやら。試合は主に山東ペースで進むも、中盤でのミスが多く、敵ゴール前に迫れない。一進一退の攻防が続きましたが、後半、山南ディフェンスがハムこと公康のドリブルに一瞬釣られてできたギャップに多田が走り込み、その多田にハムが絶妙スルーパス。GKと1対1になった多田が冷静に？決めて、1 - 0。そしてそのまま試合終了。

山東のサッカー部顧問になって5年目を迎えました。地区新人は初優勝です⁴。まさかこの代で地区新人優勝を果たすとは・・・驚きと言ったら選手に失礼でしょうが、恐らく選手にとってもまさかの優勝だったでしょう。この経験が良い形で自信になってくれれば、まぐれの優勝でも何でもいいんです！！あっ、今気づきましたが、3 - 2 - 1という前人未踏のシステムで臨み山南に敗れた昨年的一年生大会のリベンジが、今回できましたね⁵。

ともかく地区新人の結果はもう過去の話、本番は県大会です。別紙に組み合わせ表を載せておきます⁶。県新人に向けがんばりますので、応援よろしく願いいたします。また早速、今週末にYリーグ2連戦がございます（月曜日が山東にとっての最終戦）。応援よろしく願いいたします。

日程表で市陸と書きましたが誤りで、こちらが正解です

9月18日（土）Yリーグ第13節 VS 山形城北 10:00～ @上山明新館高校

9月20日（月）Yリーグ第14節 VS 新庄東 12:00～ @山形市陸上競技場

⁴ 地区新人の優勝は何年ぶりなのでしょう？恐らく前回の優勝からかなり経っているでしょう。

⁵ 今年の2年生の選手は途中から入部した者もいるので現在11名おりますが、昨年の段階では10名しかおりませんでした。そして一年生大会では3名が怪我、体調不良で出場できず、7名で試合に臨み、山南に木っ端微塵のミジンコにされたのです。

⁶ 山形中央、日大山形の地区新人の順位が悪かったので、抽選により選手権の第1シードと第2シードと第3シードが左側で並ぶ組み合わせとなってしまいました。初戦の相手は、山東サッカー部前顧問のヌマシンこと大沼晋先生率いる楯岡高校です。